

トピックス

ボーフォート海での石油掘削

環境保護の条件つきで許可

カナダ政府は、このほど、ドーム・ベトリウム社に対し、九月十五日まで北極ボーフォート海の無永海域における石油・ガスの掘削を、環境保護の特別安全措置の条件つきで認めた。

政府としては、一方においてますます増加するエネルギー需要とボーフォート海海底の有望な大石油・ガス資源、それにドーム社の大規模な資金投入、他方で環境破壊の危険性と環境問題に対する周辺住民や米国の懸念を検討していたが、環境破壊の危険性は少ないと判断、掘削を許可することになったもの。

民族舞踊団「シユムカ」が日本へ ジャスパール・箱根姉妹提携を記念

アルバータ州ジャスパールと箱根町の姉妹国立公園親善提携五周年を記念して、アルバータ州の首都エドモントンからウクライナ文化を継承する民族舞踊団「シユムカ」がオリ



ンピックでの出演のあと来日、八月一日から二十四日まで公演する。場所は箱根小涌園こどもの村にある「グリーン・パレス」体育館。時間は、八月十七日から二十日を除いて、毎日午後一時半より約一時間。問合わせは

藤田観光株式会社（電話〇三・四三三・五一五）へ。

通信衛星を利用して墜落機探索 カナダ通信省が実験に成功

カナダ政府通信省の通信研究センター（CRC）は、このほど通信衛星を利用して墜落航空機の探索・救助方法を開発し、その実験に成功した。アマチュア衛星局（AMSAT）のオスカール六号衛星と模擬遭難信号を使って行なわれた実験では、比較的安価、低空の北極軌道衛星によってカナダ内外の墜落地点を五マイル以内の正確さで、しかも信号発信後わずか十五分以内に当てることのできた。現在、米国、カナダ、日本など各国の航空機には、墜落するとただちに発信を開始し、百時間以上も作動し続ける緊急信号発信装置（ELTS）が義務づけられており、衛星が三つあれば世界のどの地点でもこの信号をキャッチし、早急に探索・救助活動ができるという。

日本チームがみごと二位に レジャイナの操車場跡地利用計画

サスカチュワン州レジャイナの操車場跡地利用計画コンテストで、株式会社ポリテクニク・コンサルタンツと清水建設の共同プロジェクト・チームが二位に入賞、賞金一万五千ドルを獲得した。レジャイナでは、鉄道移転に伴ない、市中心部にある線路および操車場の跡地およそ百四エーカーの有効利用について世界的にアイデアを求めた。これに世界各国から百二十一点の応募がなされ、今年一月の第一次選考で五点に選ばれた。五月に開かれた第二次選考は住民投

票と国際的審査団の審査があり、その結果、日本チームは住民投票で第一位、住民投票の結果を加味した総合では第二位に選ばれた。第一位はパリのミシェル・ドゥプレー・クレール、ドゥプレー・チーム。

日本プロジェクト・チームの代表で、ポリテクニク・コンサルタンツ専務取締役代表の谷村秀彦氏は、ウイニペグ大学で都市計画を専攻、同大学で教えたこともあり、カナダ都市計画協会の会員でもある。同氏によると、日本チームの作品を含め、第二次選考作品はいずれも町の中心部を活性化してダウンタウンに住民を呼び戻すための建物を作る、ダウンタウンを補強するためある程度の事務所などを設ける、集合場を多くとる、自動車道路と歩行者道路を完全に区別することなどを盛り込んでいた。

カナダ、漁業水域を二百カイリに 大西洋沿岸の魚資源を守るため

カナダ政府は、六月四日、来年一月一日までに漁業水域を二百カイリに延長すると発表した。特に大西洋沿岸で魚資源の枯渇が急速に進んでいるために、カナダの漁業を保護する必要上この措置がとられるもの。

ただカナダ政府としては、北西大西洋漁業国際条約（ICNAF）諸国との二国間取決めで約束しているように、カナダの漁獲能力を越える分については二百カイリ水域内での他国の漁獲を許可する方針で、これに関する話し合いには応ずる構え。また、この漁業問題を含め、大陸棚や海底に関する経済水域の問題についても、カナダとしてはできるだけ国連海

洋法会議で多国間協定による解決を期待していることには変わりない。

関東短大で「カナダの日」

関東短期大学（群馬県館林）では、五月、「カナダの日」を催した。これには同短大の松平八重子教授（学校法人関東学園理事）の招きで、カナダ大使館からジョーンズ二等書記官（文化・学術担当）と秘書のジュン・サリバンさんが出席、約百五十人の学生を対象にカナダの映画を紹介したほか、エッセイ・コンテストの入賞者に記念品を贈った。また、カナダに関する熱心な質疑応答があつて有意義な時を過ごした。

人事往来

○松形林野庁長官、浅村住宅金融公庫総裁、救仁郷建設省住宅局参事官ら、林産工業、住宅事情、住宅産業（特に枠組壁工法）などの視察のための訪加（六月）。

○カナダからコークス製造技術ミッション来日（六月）。

○宝飾業者ミッション訪加（六月）。

○トロントの打楽器奏者グループ「ネクサス」が日本で公演（六・七月）。

本紙は、カナダ大使館から二カ月に一回発行されます。本紙掲載内容の転用、転載は自由ですが、その際は出典を明らかにして下さい。なお、ご意見やご希望は左記の住所にご連絡下さい。

東京都港区赤坂七丁目三番三十八号
カナダ大使館広報部